

議題（２）運行ルートについて

1. 前回の市民部会での意見交換内容

【方向性について】

- 現在のルートが市民生活に根付いているが、持続的な運行を実現するための見直しはやむを得ない。

【利用者の少ない地域について】

- 採算性の低いルートや地域は、見直しを行うべきである。
- 効率的な運行ならびに利用者の多い地域でのサービス向上を図るため、ルートの短縮、サービスの集約化も考えた方がいいのではないか。
- 路線バスのある地域とない地域ではオレンジゆずるバスの重要性が異なってくる。見直しの段階では区分して検討した方がいいと思う。
- ルートを残す場合でも、利用者の少ないバス停は廃止（通過）して、運行時間の短縮を図る方がいいのではないか
- 利用者の少ないバス停が連続するような区間では、フリー乗降を可能にすると利便性が高まるのではないか。
- 赤ルートについては、小野原東地域まで運行しているため、運行距離が長い。渋滞に巻き込まれるなど、遅延の原因になっているのではないか。

【“箕面駅”や“かやの中央”への運行について】

- “箕面駅”や“かやの中央”を利用する人にとっては、利用可能な本数が多く、利便性が高い一面もある。ただし、ルート全体を考えれば、遠まわりになっており、見直しはやむを得ないと思う。
- 青ルートについて、西部地域から“箕面駅”へ経由するため、市役所への移動が遠まわりになっているため、見直しを考えた方がいいのではないか。

【その他】

- 一部の地域、区間では、定員を上回る利用者が集中することがある。利用者の少ない時間と多い時間を見極め、サービスの集中を図れないか？
- 利用者の少ない夜間便や休日については、運行のとりやめもやむを得ないのではないか。
- “市立病院”と“松寿荘”は必ず経由すべきだと思う。

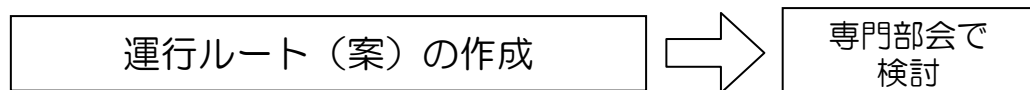
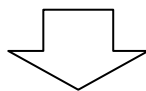
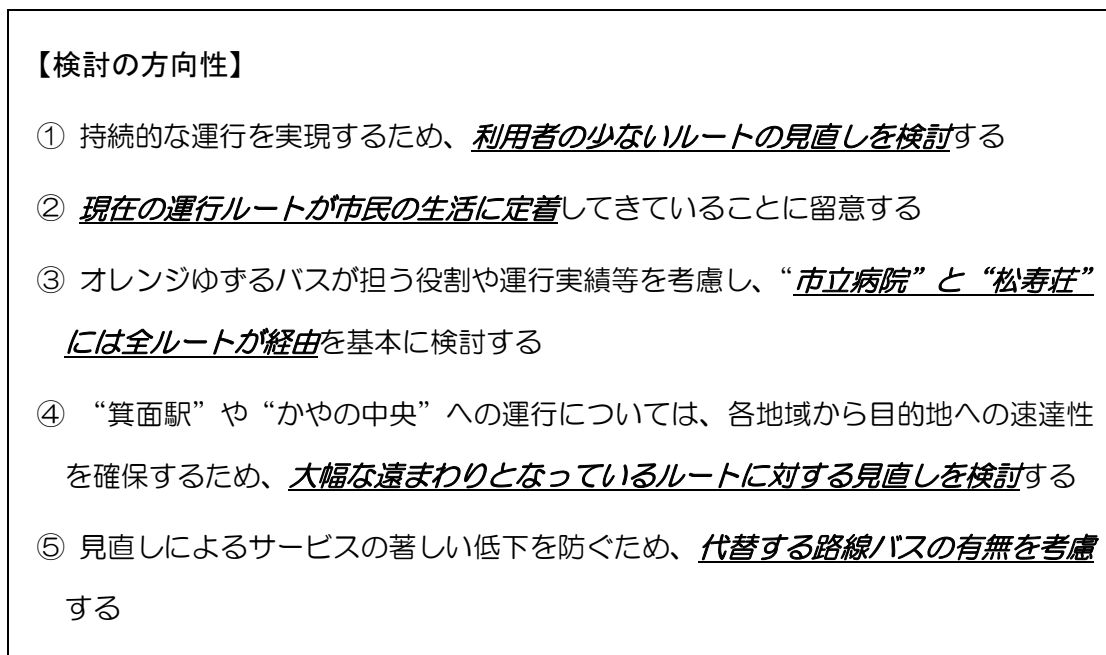
2. 運行ルート（案）の作成

（1）今後の検討内容

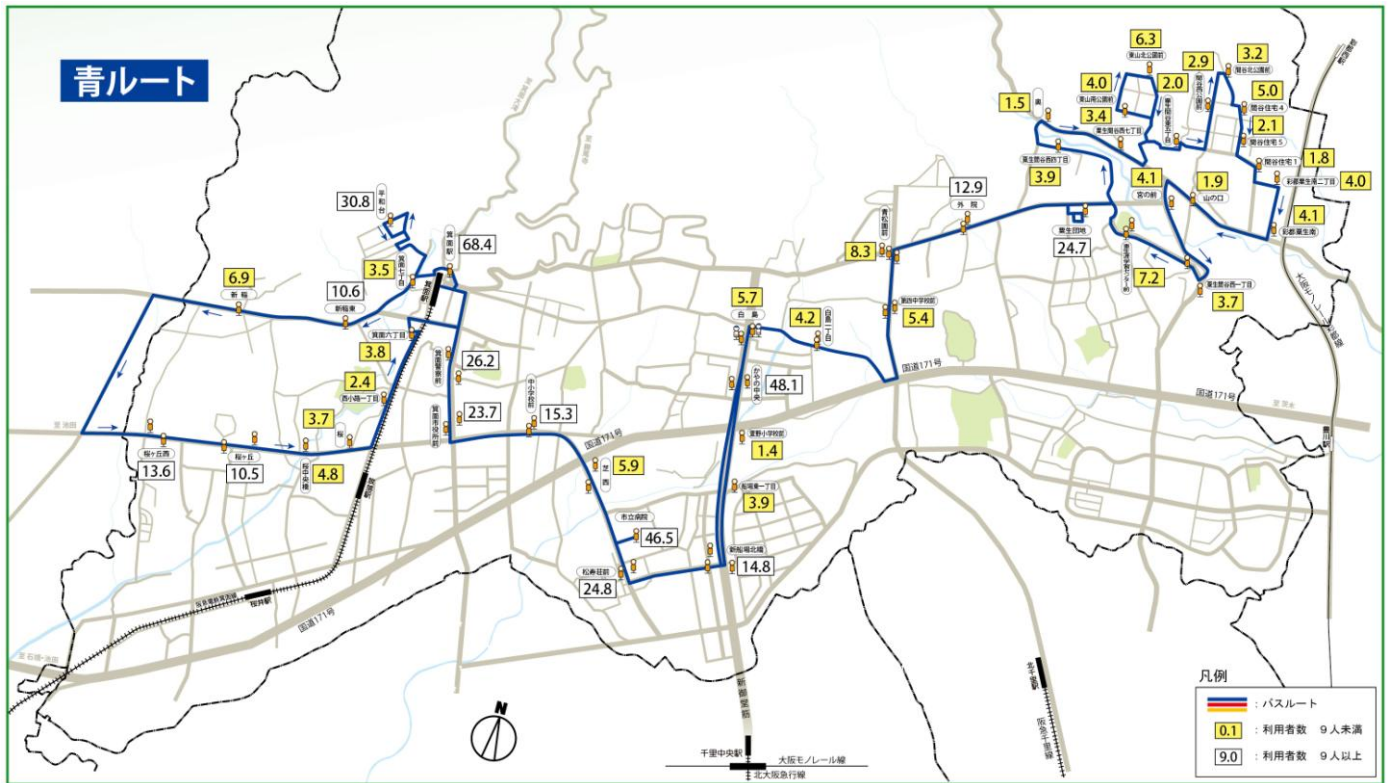
項目	検討の時期・方法
フリー乗降	デメリットや許認可の関係もあるため、専門部会で検討
夜間便、休日の廃止	費用負担のあり方とセットで、運行サービスを次回（第13回）市民部会で検討
運行サービスの集中	専門部会で検討

（2）今回の検討内容

第12回市民部会では、前回の市民部会で提示された以下の方向性に基づいて、OD調査やアンケート調査結果をふまえた運行ルートの検討を行う。



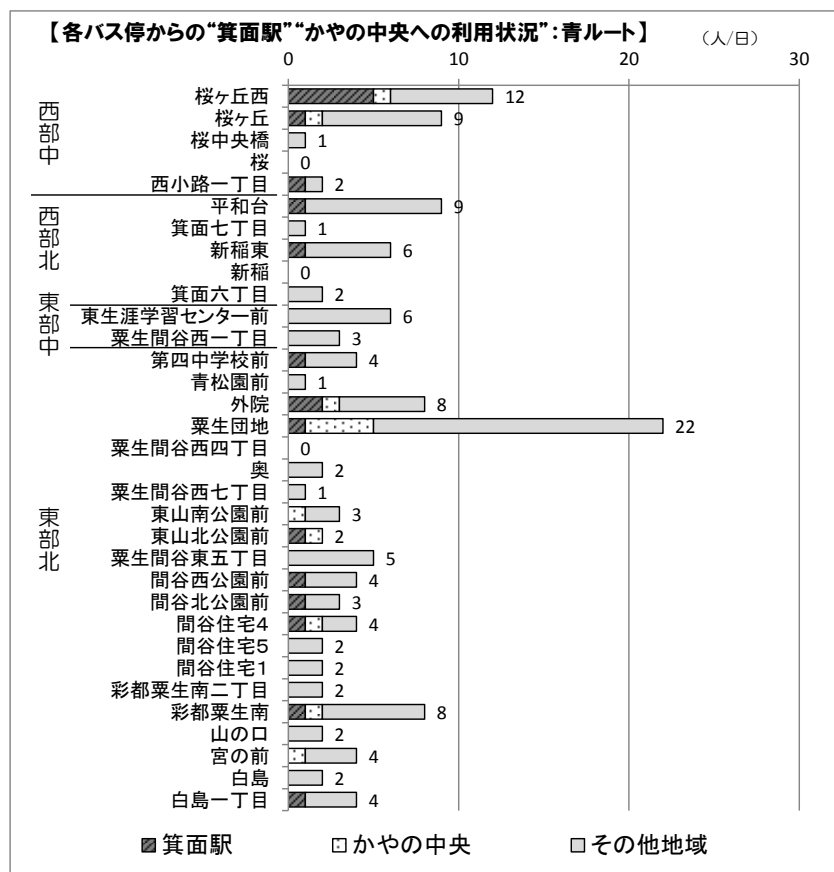
3. 具体的な運行ルート of 検討

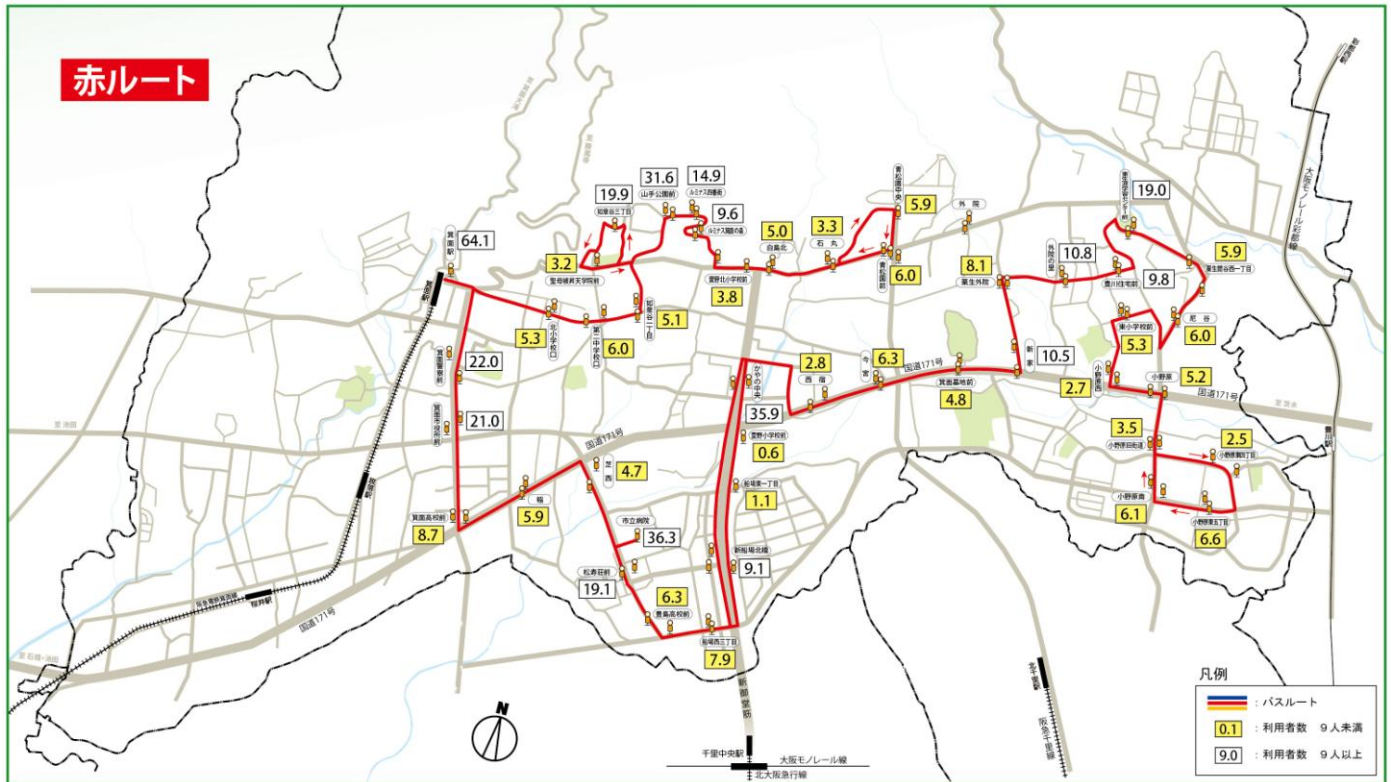


- 検討① 利用者の少ないバス停をショートカットするルートについて
- 検討② 西部地域から“箕面駅”へのアクセスを確保するかについて
- 検討③ 東部地域から“かやの中央”へのアクセスを確保するかについて
- なお、検討にあたっては、他のルートとの調整によるルートの見直し検討も可能

★ “箕面駅” “かやの中央” への利用状況（青ルート：平日）

	利用者数（人/日）				利用割合（％）			
	箕面駅	かやの中央	その他地域	計	箕面駅	かやの中央	その他地域	計
西部中	7	2	15	24	29%	8%	63%	100%
西部北	2	0	16	18	11%	0%	89%	100%
東部中	0	0	9	9	0%	0%	100%	100%
東部北	10	10	65	85	12%	12%	76%	100%



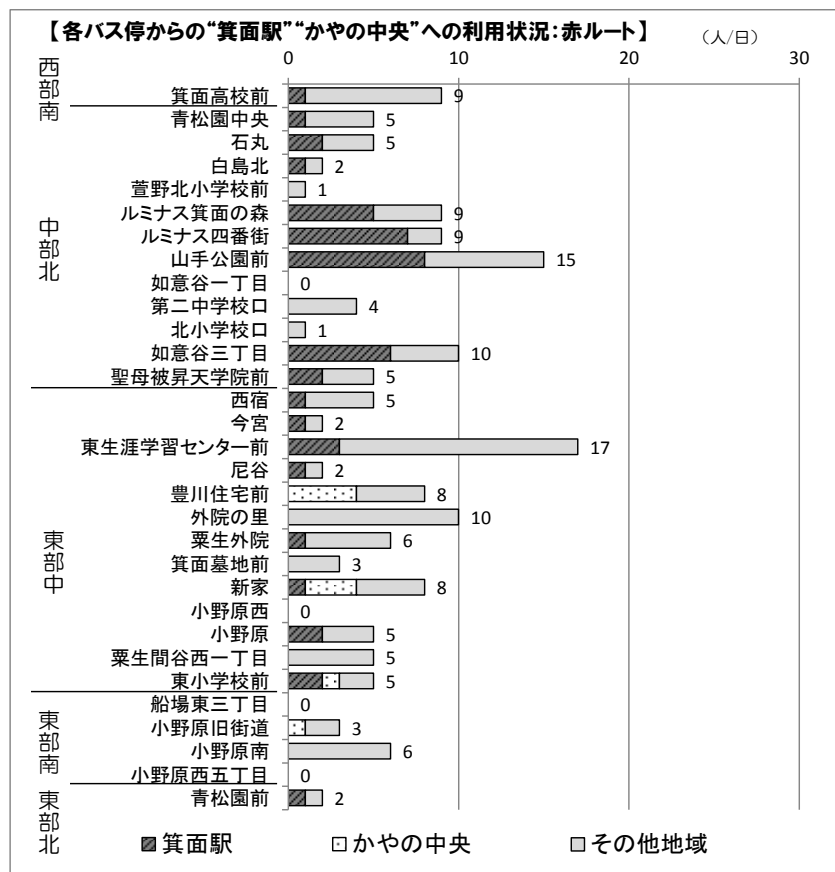


- 検討① 利用者の少ないバス停をショートカットするルートについて
- 検討② 東部の南北移動ルートを確保するかについて

なお、検討に当たっては、他のルートとの調整でルートの見直し検討も可能

★ “箕面駅” “かやの中央” への利用状況（赤ルート：平日）

	利用者数（人/日）				利用割合（％）			
	箕面駅	かやの中央	その他地域	計	箕面駅	かやの中央	その他地域	計
西部南	1	0	8	9	11%	0%	89%	100%
中部北	32	0	34	66	48%	0%	52%	100%
東部中	12	8	56	76	16%	11%	74%	100%
東部南	0	1	14	15	0%	7%	93%	100%
東部北	1	0	1	2	50%	0%	50%	100%



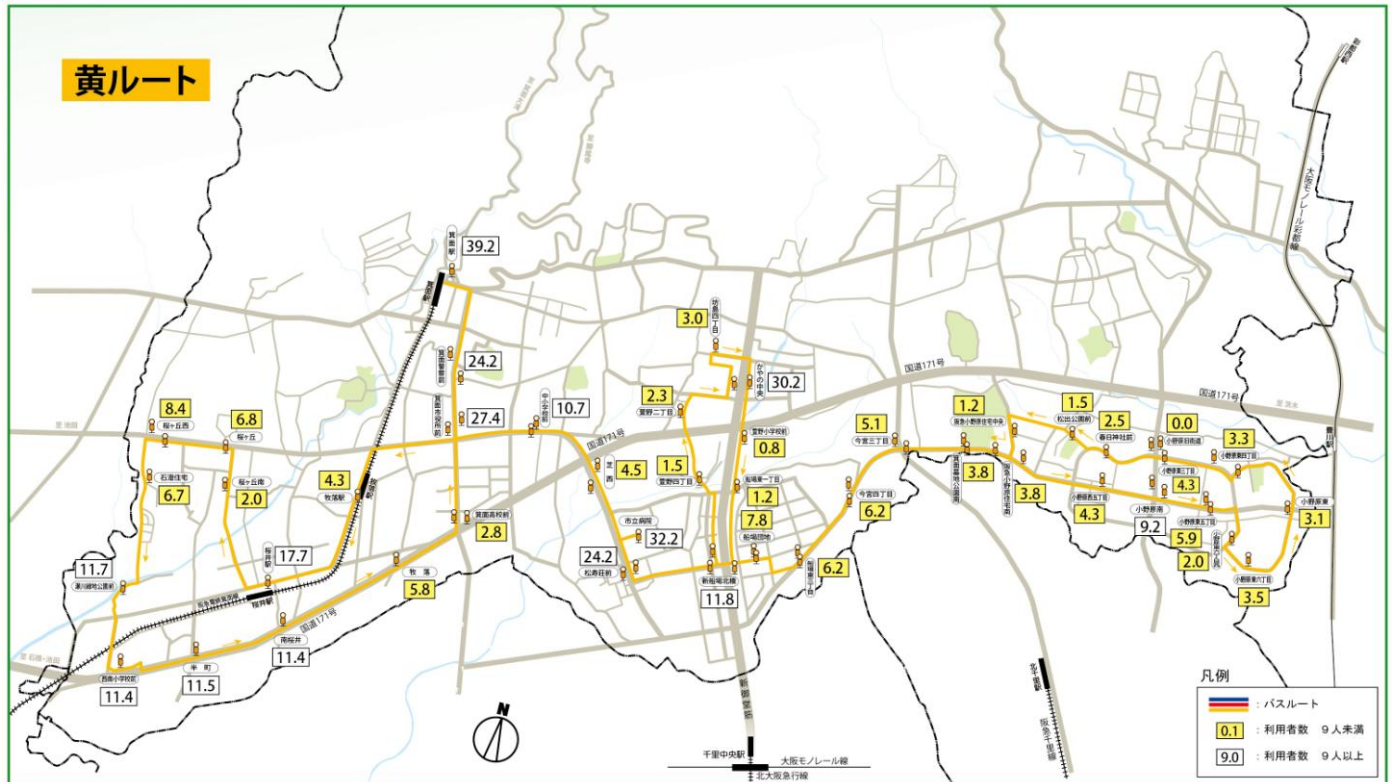
★ 小野原地域における南北への利用状況（平日）

表 北から南方向への利用

東部中	→	東部南	流動量（人/日）
西宿	→	小野原東四丁目	2
箕面墓地前	→	小野原東五丁目	1
粟生外院	→	小野原南	1
粟生間谷西一丁目	→	小野原東四丁目	1
東生涯学習センター前	→	小野原東四丁目	3
	→	小野原東五丁目	2
	→	小野原南	1
小野原	→	小野原南	2
合計			13

表 南から北方向への利用

東部南	→	東部中	流動量（人/日）
小野原東四丁目	→	東生涯学習センター前	1
小野原東五丁目	→	東生涯学習センター前	1
小野原南	→	粟生外院	2
	→	豊川住宅前	1
	→	東生涯学習センター前	1
	→	粟生間谷西一丁目	1
合計			7



検討① 利用者の少ないバス停をショートカットするルートについて

検討② 西部地域ならびに

東部・中部地域からの“箕面駅”へのアクセスを確保するかについて

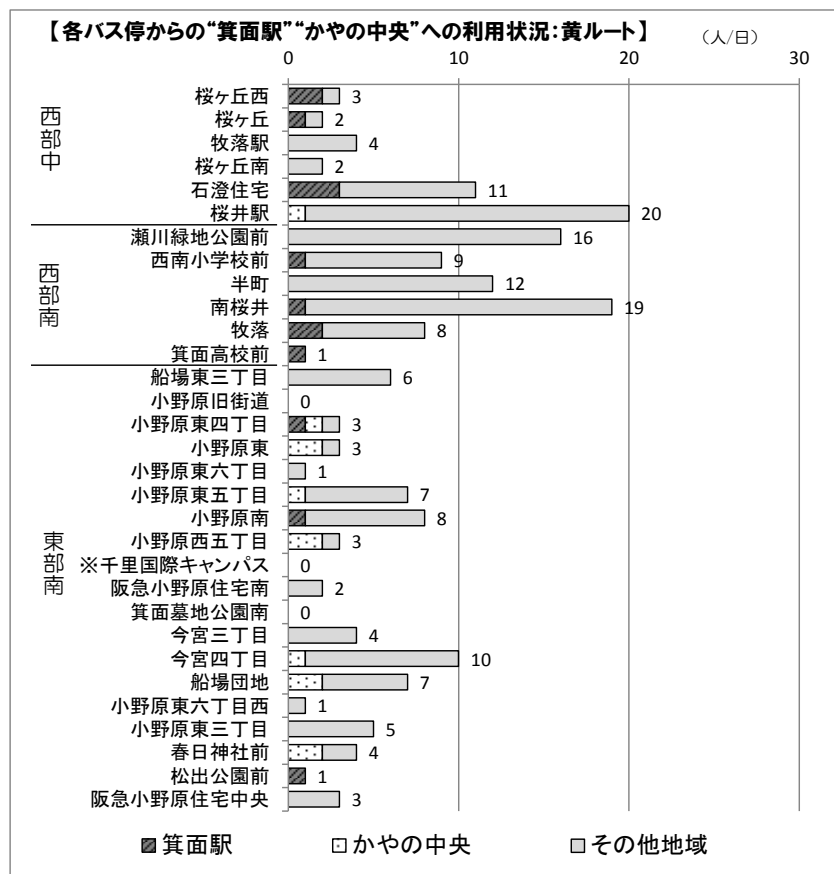
検討③ 西部地域ならびに

東部・中部地域からの“かやの中央”へのアクセスを確保するかについて

なお、検討に当たっては、他のルートとの調整でルートの見直し検討も可能

★ “箕面駅” “かやの中央” への利用状況

	利用者数 (人/日)				利用割合 (%)			
	箕面駅	かやの中央	その他地域	計	箕面駅	かやの中央	その他地域	計
西部中	6	0	16	22	27%	0%	73%	100%
西部南	5	1	79	85	6%	1%	93%	100%
東部南	3	11	54	68	4%	16%	79%	100%



※ 関西学院千里国際キャンパス

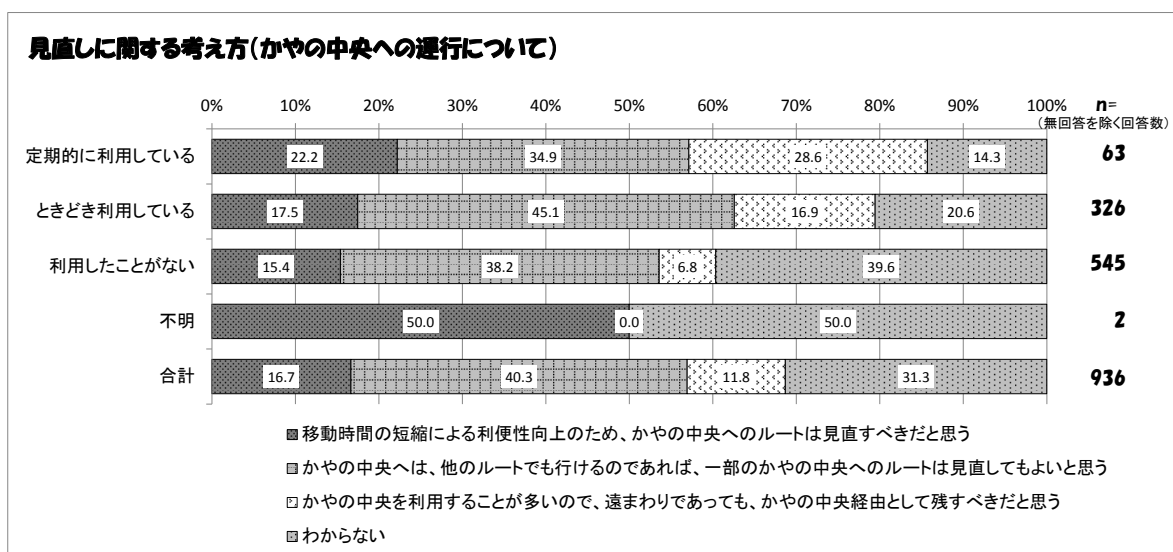
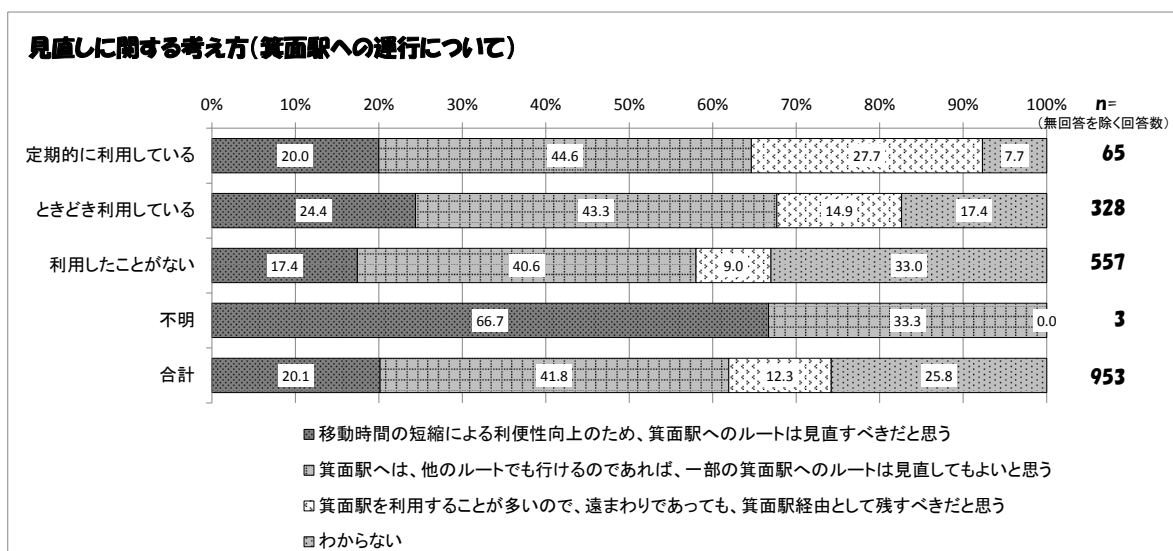
【参考】 “箕面駅” “かやの中央” への運行に対する市民意識

◆市民アンケート結果では、箕面駅やかやの中央への運行については、他のルートで行ける環境を維持する前提であれば、利用の有無にかかわらず、回答者の約半数が見直してもよいと回答している。

◆バス利用者アンケート結果（次頁）では、箕面駅への運行について、平日の利用者では“残すべき”という回答が多く、休日の利用者では“他のルートで行ける環境を維持する前提であれば見直してもよい”という回答が多い。

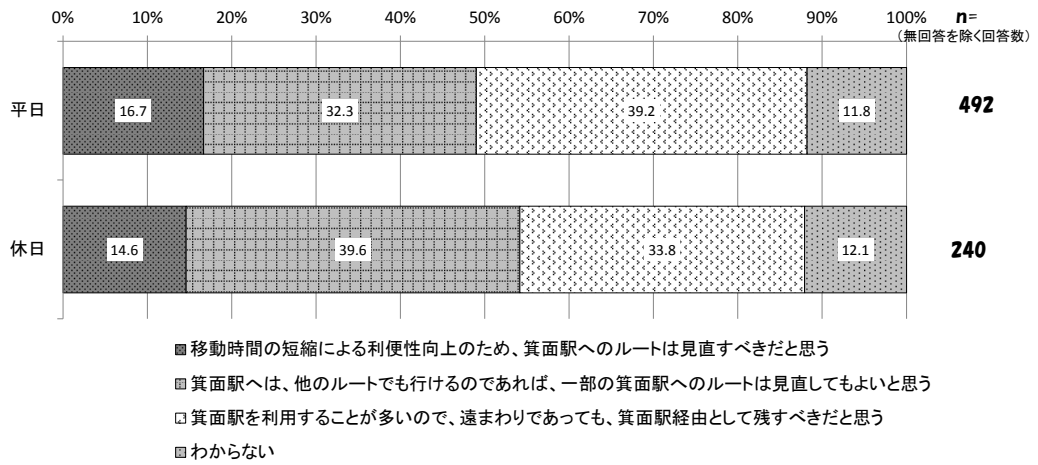
◆バス利用者アンケート結果（次頁）では、かやの中央への運行について、休日の利用者では“残すべき”という回答が多い。

【市民アンケート調査】

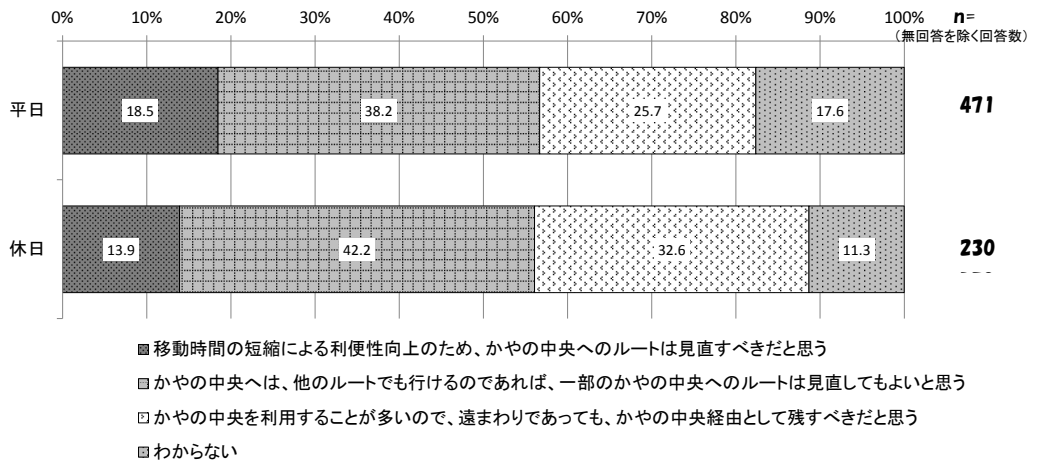


【バス利用者アンケート調査】

見直しに関する考え方(箕面駅への運行について)



見直しに関する考え方(かやの中央への運行について)



H24 バス利用者アンケート調査